



梅島小だより

10月号
令和6年10月2日
足立区立梅島小学校
校長 瀬谷 智代

通知表は子供を励ます機会に

校長 瀬谷 智代

ようやく暑さも落ち着き、過ごしやすい季節となりました。まもなく前期も終了となります。各教室で一生懸命学習する子供たちの様子を見ると、一人一人の成長を感じます。子供たちは、理解し、解決し、友達に認められ「わかった、やった、できた」と喜びを表しながら、充実感や達成感、存在感を味わっています。

10月11日（金）は前期の終業式です。この日に通知表（あゆみ）をお渡しします。

学習のようすは、次の3つの観点で評価します。

- ①基礎的な知識・技能の習得
- ②知識・技能を活用して問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力
- ③主体的に学習に取り組む態度

これらの①②③の観点ごとの学力から見たお子さんの状況を記載してあります。「よかった、悪かった」とだけ見るのではなく、どの教科のどんな学力で力が発揮されたのか、どんな成果が上がったのかなど、お子さんの努力の様子をご確認ください。

また、生活のようすでは、あいさつ、規則正しい生活などの基本的な生活習慣、人や自然とのかかわり方、約束や決まりを守っているか、仕事への取り組みなどの面から記載しています。行動の状況は学習面での意欲や成果につながる大切な要素です。

所見では、学習や生活の状況の中から、努力したことや成長した様子、今後の課題などを文章でお知らせします。

詳しくは、9月4日の保護者会でお渡しした通知表「あゆみ」についてをお読みください。ぜひ、ご家庭でもお子さんの学習、行動について一緒に振り返り、後期に向けてよさを認め励ましていただきたいと思います。